

目次

[はじめに]—————	6
8K映像の利用を手がかりに、未来を探ってみよう	
超高精細映像に関する委員会 委員長 音 好宏	
[各分野からの報告]—————	8
◻ミュージアム—————	10
国立博物館のスーパーハイビジョン	
——九州国立博物館における超高精細映像の活用と展望	
九州国立博物館 企画課 企画課長 河野一隆	
◻医療—————	14
世界初、8K 腹腔鏡システムの臨床応用	
——8Kビデオシステムの将来性	
杏林大学 医学部外科（消化器・一般）教授 森 俊幸	
一般社団法人メディカル・イメージング・コンソーシアム 副理事長 谷岡健吉	
日本大学 総合科学研究所 教授 千葉敏雄	
◻ディスプレイ—————	18
世界初、8K映像モニターの発売とその活用への期待	
——新たな価値の創造・創出へつながる製品を開発	
シャープ株式会社 A1292 プロジェクトチーム統轄責任者	
吉田育弘	
◻コンテンツ—————	22
テレビを超える「映像体験」の実現に向けて	
——8K・新しい映像表現への挑戦	
電通 CDC プランナー 小池宏史	

[8K開発の道のりと展望]—————	26
超高精細映像の技術研究開発の経緯そして期待 —	28
東京工業大学 監事 榎並和雅	
無限大の可能性を現実にするために	
必要なのは「横串」だ —————	30
一般社団法人次世代放送推進フォーラム 事務局長	
元橋圭哉	
超高精細映像のこれから —————	32
東京大学 名誉教授 原島 博	
[資料]	
8Kをめぐる政策の動き —————	37
4K・8K推進のためのロードマップ(総務省) —————	38、39
4K8K技術の国内・世界市場(総務省) —————	40、41
2020年社会全体ICT化アクションプラン(総務省)	
—————	42～51
各種映像方式や印刷物の精細度、情報ビットレート比較 —	52